

ii. 養成校へ所属する外国人留学生へのアンケート調査

平成30年10月（留学生票）

厚生労働省 社会援護局 補助事業
「介護福祉士を目指す外国人留学生等に対する相談支援等の体制整備事業」
ようせいこう しょぞく がいこくじんにゅうがくせい
**養成校へ所属する外国人留学生への
アンケート調査**

【本調査の目的】

平成 28 年 11 月に「出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律」が成立・公布され、新たに在留資格「介護」が創設されました(平成 29 年9月より施行)。これにより、介護福祉士の資格を取得し、日本国内で介護の業務に従事するため、介護福祉士養成校への外国人留学生が増加していくことが予想されています。

本アンケート調査は、**全国の介護福祉士養成校に所属する外国人留学生に対して、日本で介護を学ぶにあたってどのような困難があるか、また養成校に望むことはあるかについて、介護技術面、日本語学習面、日本での生活面について調査を行うことで、外国人留学生等の抱える課題に対する相談支援や日常生活面における支援を実施する体制を整備し、外国人留学生が円滑に学習・就労等を行うことができるよう支援することを目的として実施するものです。**

【本調査の対象】

全国の介護福祉士養成校に所属する外国人留学生(介護福祉士養成課程に所属する方のみ)

【回答期限】

11月12日(月)までに WEBにて回答してください

【調査票の取扱いに關しまして】

ご回答いただきました内容につきましては、次のように取扱います。

- ・ 調査結果については取りまとめを行い、厚生労働省に提出させていただきます。
- ・ 調査への拒否や、一部の調査項目への回答拒否があっても、そのことで不利益が生じることは一切ございません。
- ・ 調査の回答の内容は、学校の成績・評価には一切影響しません。

■本調査に関する問合せ先

本調査に対する問い合わせについては、所属の養成校に行い、養成校の教員等経由で、日本語で以下までお問い合わせください。

〒 105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル5階

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療政策支援部
担当：笠原、岡田、政岡、川村

TEL: (フリーダイヤル) 0120-304-603 (平日 10:00～17:00) FAX: 03-3432-1837

■本事業の趣旨等に関する問合せ先

〒 100-0013 東京都千代田区霞が関3-6-14 三久ビル7階

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 事務局
担当：山田、石田

TEL: 03-5512-4745 (平日 10:00～17:00) FAX: 03-5512-4746

<介護福祉士養成校での就学状況や、介護に関する学習等について伺います>

問1. あなたの所属する介護福祉士養成校の種類を教えてください。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 大学
2. 短期大学
3. 専門学校
4. その他（ ）

問2. あなたの所属する介護福祉士養成課程の修業年限を教えてください。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 1年
2. 2年
3. 3年
4. 4年
5. その他（ ）

問3. あなたは、介護福祉士養成校に入学してどれくらい経ちますか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 半年未満
2. 半年以上、1年未満
3. 1年以上、2年未満
4. 2年以上、3年未満
5. 3年以上、4年未満
6. その他（ ）

問4. あなたは、介護福祉士養成校に入学する直前、どこにいましたか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 日本にいた ⇒問4-1、問4-2へ
2. 母国にいた ⇒問4-2へ
3. 日本、母国以外の別の国にいた ⇒問4-3へ

【問4で1.を選択した方】

問4-1. あなたは、介護福祉士養成校に入学する直前、なにをしていましたか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 日本語学校に通っていた
2. 現在とは別の介護福祉士養成校に通っていた
3. 働いていた（看護師として）
4. 働いていた（介護に関連した仕事）
5. 働いていた（上記3.4.以外の仕事）
6. その他（ ）

【問4で1.2.を選択した方】

問4-2. あなたは、母国で、なにをしていましたか。（あてはまるものいくつでも○）

1. 日本語学校に通っていた
2. 看護の学校（大学、専門学校、高等学校等）に通っていた
3. 看護以外の学校（大学、専門学校、高等学校）に通っていた
4. 働いていた（看護師として）
5. 働いていた（介護に関連した仕事）
6. 働いていた（上記4.5.以外の仕事）
7. その他（ ）

【問4で3.を選択した方】

問4-3. あなたは、日本、母国以外の別の国で、なにをしていましたか。（あてはまるものいくつでも○）

1. 日本語学校に通っていた
2. 看護の学校（大学、専門学校、高等学校等）に通っていた
3. 看護以外の学校（大学、専門学校、高等学校）に通っていた
4. 働いていた（看護師として）
5. 働いていた（介護に関連した仕事）
6. 働いていた（上記（4.5.）以外の仕事）
7. その他（ ）

問5. あなたが、日本の介護福祉士養成校に入学しようと考えた開始の時期はいつですか。

(最もあてはまるもの1つに○)

1. 母国において、日本語学校に通っていたとき
2. 母国において、看護の学校(大学、専門学校、高等学校等)に通っていたとき
3. 母国において、看護以外の学校(大学、専門学校、高等学校等)に通っていたとき
4. 母国において、看護師として働いていたとき
5. 母国において、介護に関連した職場で働いていたとき
6. 母国において、上記4.5.(看護師や介護に関連した職場)以外の職場で働いていたとき
7. 日本において、日本語学校に通っていたとき
8. 日本において、看護師として働いていたとき
9. 日本において、介護に関連した職場で働いていたとき
10. 日本において、上記8.9.(看護師や介護に関連した職場)以外の職場で働いていたとき
11. その他()

問6. あなたが、日本の介護福祉士養成校に入学しようと思ったのはなぜですか。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 日本の介護技術を学びたかったから
2. 将来、日本の介護福祉士の専門知識・技術、そして経験を生かして母国で仕事をしたがいたから
3. 母国で取得した自分の資格やキャリアが日本で介護業務に生かせると思ったから
4. 平成33年度末までに養成校を卒業して介護施設・事業所に5年勤め続けられれば、介護福祉士の試験の合否にかかわらず、日本に在留し続けることができるから
5. 日本で働きたかったから ⇒問6-1へ
6. その他() ⇒問7へ

⇒問7へ

【問6で5.を選択した方】

問6-1. あなたが、日本で働きたいと思ったのはなぜですか。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 日本に住んでみたかったから ⇒問6-2へ
2. 家族・親戚・友人が日本に住んでいるから
3. 家族・友人・知人等に勧められたから
4. 母国から日本が近いから
5. 日本に留学していたことがあるから
6. その他()

【問6-1で1.を選択した方】

問6-2. あなたが日本に住んでみたかったと思ったのはなぜですか。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 日本人の気質が好きだから
2. 日本が住みやすいから
3. 日本は雇用が安定しているから
4. 日本は給与水準が高いから
5. 日本の文化・芸術に興味があるから
6. 日本は教育環境が充実しているから
7. その他()

問7. あなたは、現在の介護福祉士養成校に入学するにあたり、どこから情報を入手しましたか。(それぞれの項目についてあてはまるものいくつかでも○)

入手先	入手時期	
	母国(日本入国前)	日本入国後
1. 母国の学校の教員・職員等	1	1
2. 日本語学校の教員・職員等	2	2
3. 日本語ボランティア	3	3
4. 友人・知人(日本人以外)	4	4
5. 友人・知人(日本人)	5	5
6. 家族・親族	6	6
7. インターネットの情報サイト	7	7
8. SNS (Twitter、Facebook等)	8	8
9. 日本への留学フェア等	9	9
10. 斡旋業者(ブローカー等)	10	10
11. 養成校のHP、養成校への資料請求	11	11
12. その他()	12	12

問8. あなたが、現在の介護福祉士養成校を選んだのはなぜですか。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 母国の学校の教員・職員等に勧められたから
2. 日本語学校の教員・職員等に勧められたから
3. 友人・知人(日本人)に勧められたから
4. 友人・知人(母国出身者)に勧められたから
5. 友人・知人(上記3. 4. 以外)に勧められたから
6. カリキュラムが充実しているから
7. 一日の授業が短いから
8. 働きながら学べるから
9. 同じ国の外国人が学んでいるから
10. 多くの外国人が学んでいるから
11. 学費が安いから
12. 奨学金制度があるから
13. 外国人留学生のサポート体制が充実しているから
14. 設備が充実しているから
15. 介護福祉士の合格率が高いから
16. 日本での居住地(予定地)から近いから
17. その他 ()
18. 特に理由はない

問9. あなたの、介護福祉士養成校を卒業後の在留意向を教えてください。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 日本に永住したい
2. 10年程度は日本で仕事をしたい
3. 5年程度は日本で仕事をしたい
4. 1～2年程度は日本で仕事をしたい
5. すぐにでも帰国したい・日本を離れたい
6. その他 ()

問10. あなたは、介護職として就職先を決める場合、以下の項目についてどの程度重視しますか。(それぞれ最もあてはまるもの1つに○)

区分	重要では	あまり重要	どちらとも	やや重要	重要
	ない	ではない	いえない		
1. 仕事の内容	1	2	3	4	5
2. 仕事のやりがい	1	2	3	4	5
3. キャリアパス(※)の制度が整っているか	1	2	3	4	5
4. 給料	1	2	3	4	5
5. 労働時間・休日等の働き方	1	2	3	4	5
6. 立地条件(家から通えるか等)	1	2	3	4	5
7. 職場の人間関係が良好か	1	2	3	4	5
8. 職場に知り合いの日本人が働いている	1	2	3	4	5
9. 職場に同じ国の外国人が働いている	1	2	3	4	5
10. 安定的に長期間働くことができるか	1	2	3	4	5
11. 福利厚生	1	2	3	4	5

※ キャリアパスとは、目標とするポジションやキャリアに向かって、必要なステップを踏んでいくための順序や道筋のことをいいます

問11. あなたは、学校での学習以外に、毎日平均してどの程度、介護について学習していますか。学校のある日とない日、それぞれで教えてください。(それぞれ最もあてはまるもの1つに○)

区分	なし	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間
		程度	程度	程度	程度	以上
学校のある日(授業以外)	1	2	3	4	5	6
学校のない日	1	2	3	4	5	6

問12. あなたは、介護の学習で困ったとき、誰に相談していますか。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 学校のクラス担任・ゼミ担当
2. 学校のクラス担任・ゼミ担当以外の教員
3. 学校の相談窓口の職員
4. 上記1.～3. 以外の学校の職員(事務員等)
5. 日本語ボランティア
6. 友人・知人(日本人)
7. 友人・知人(母国出身者)
8. 友人・知人(上記6. 7. 以外)
9. 相談支援ダイヤルなど問い合わせ窓口
10. その他 ()
11. 相談できる人がいない

問13. あなたが介護の学習をするにあたり、困っていることがあれば、教えてください。
(自由記述)

介護学習で困っていること

問14. あなたは、介護福祉士養成校の授業をどのように感じていますか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 不満

＜あなたご自身の日本語の習得状況等について伺います＞

問15. 現在の介護福祉士養成校に入学した際、どの程度の「日本語能力」を保持してましたか。(あてはまるものいくつかでも○)

入学の際、保持していた資格等の種類 (あてはまるものいくつかでも○)	保持していた資格等の内容
日本語能力試験 (JLPT)	1. N1 2. N2 3. N3 4. N4 5. N5
日本語NAT-TEST	1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級
実用日本語検定J.TEST	1. A-Dレベル 2. E-Fレベル 3. ビジネスJ.TEST 試験の点数が () 点
日本留学試験EJUの日本語科目	450点中 () 点
BJTビジネス日本語能力テスト	() 点
日本語学校で半年程度以上学んでいた	

問16. 現在(2018年10月1日現在)、どの程度の「日本語能力」を保持していますか。問15でお答えいただいた資格等のうち、更新した資格等について教えてください。(あてはまるものいくつかでも○)

現在、保持している資格等の種類 (あてはまるものいくつかでも○)	保持している資格等の内容
日本語能力試験 (JLPT)	1. N1 2. N2 3. N3 4. N4 5. N5
日本語NAT-TEST	1. 1級 2. 2級 3. 3級 4. 4級 5. 5級
実用日本語検定J.TEST	1. A-Dレベル 2. E-Fレベル 3. ビジネスJ.TEST 試験の点数が () 点
日本留学試験EJUの日本語科目	450点中 () 点
BJTビジネス日本語能力テスト	() 点

問17. あなたは、介護福祉士養成校での授業以外に、毎日平均してどの程度、日本語の学習をしていますか。授業のある日については、授業で行う日本語学習を除き、自主学習の時間を教えてください。(それぞれの最もあてはまるもの1つに○)

区分	学習しない	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間
		程度	程度	程度	程度	以上
授業のある日	1	2	3	4	5	6
授業のない日	1	2	3	4	5	6

問18. あなたは、以下の場面で使う日本語について、どの程度分かりますか。(それぞれ最もあてはまるもの1つに○)

区分	まったく わからない	あまり わからない	どちらとも いえない	だいたい わかる	よくわかる	やったこと がない
日常生活	1	2	3	4	5	
養成校での授業	1	2	3	4	5	
介護施設・事業所でのアルバイト・介護実習(※)	1	2	3	4	5	6
介護福祉士国家試験の勉強	1	2	3	4	5	6

(※) 介護実習とは、介護福祉士養成校の授業の一環で行う介護実習のことを指します。

問19. あなたは、日本語学習について困ったとき、誰に相談していますか。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 学校の教員(クラス担任・ゼミ担当)
2. 学校の教員(クラス担任・ゼミ担当以外)
3. 学校の相談窓口の職員
4. 上記1.～3.以外の学校の職員(事務員等)
5. 日本語ボランティア
6. 友人・知人(日本人)
7. 友人・知人(母国出身者)
8. 友人・知人(上記6. 7.以外)
9. 相談支援ダイヤルなど問い合わせ窓口
10. その他()
11. 相談できる人がいない

問20. あなたが日本語を学習するにあたり、困っていることがあれば、教えてください。(自由記述)

<日本語学習について困っていること>

問21. あなたは、授業の内容をどの程度理解できていますか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 十分理解できる
2. やや理解できる
3. どちらともいえない
4. やや理解できない
5. 全く理解できない

問22. あなたは、今までに介護福祉士養成校を辞めたいと思ったことはありますか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. よく思う
2. 時々思う
3. たまに思う
4. あまり思ったことはない
5. 1度も辞めたいと思ったことはない

} ⇒問22-1へ

⇒問23へ

【問22で5.以外を選択した方】

問22-1. あなたが、介護福祉士養成校を辞めたいと思ったのはなぜですか。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 勉強についていけないから
2. 別の介護福祉士養成校へ行きたいから ⇒問22Aへ
3. 介護以外を学べる学校に行きたいから ⇒問22Bへ
4. プライベートな理由(家族、趣向に関わる理由)から ⇒問22Cへ
5. 日本で暮らしていくのが大変だから ⇒問22Dへ
6. その他()

【問22-1で2.を選択した方】

問22A. あなたが、別の介護福祉士養成校に行きたいと思ったのはなぜですか。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 学校での教員・職員との人間関係がうまくいかないから
2. 学校での日本人学生との人間関係がうまくいかないから
3. 学校での留学生同士の間関係がうまくいかないから
4. 学校の介護の授業・指導に納得がいかないから
5. 学校の生活のサポート体制に納得がいかないから
6. 学校の就職のサポート体制に納得がいかないから
7. 学校の所在地の地域が好きになれないから
8. 友人・知人が別の介護福祉士養成校に入学しているから
9. その他()

【問22-1で3.を選択した方】

問22B. あなたが、介護以外を学べる学校に行きたいと思ったのはなぜですか。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 別に興味のある学問があるから
2. 介護について理解できないから
3. 利用者とのコミュニケーションが難しい(難しそう)だから
4. 介護で使用する日本語が難しいから
5. 介護の仕事が体力的に大変(大変そう)だから
6. 介護の仕事が精神的に大変(大変そう)だから
7. 実習が大変だったから
8. 他の職種と比較して、介護職種の給与水準が低い(と聞いた)から
9. その他 ()

【問22-1で4.を選択した方】

問22C. あなたが、介護福祉士養成校を辞めたいと思った、プライベートな理由を教えてください。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 結婚(妊娠)する(した)から
2. 母国の家族が心配するから
3. 日本以外のほかの国に行きたいから
4. その他 ()

【問22-1で5.を選択した方】

問22D. あなたが、日本で暮らしていくのが大変だと思ったのはなぜですか。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 日本の慣習に慣れるのが大変だから
2. 日本語が難しいから
3. 外国人だからという理由で差別を受けるから
4. 自分の母国の文化・宗教等について周りの理解がないから
5. 日本は物価が高く、生活費を工面するのが大変だから
6. 日本に知り合いがあまりできず、孤独だから
7. ホームシックになったから
8. その他 ()

<あなたご自身の日本での生活全般について 伺います>

問23. あなたは、日本での生活について困ったとき、誰に相談していますか。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 学校の教員(クラス担任・ゼミ担当)
2. 学校の教員(クラス担任・ゼミ担当以外)
3. 学校の相談窓口の職員
4. 上記1.～3.以外の学校の職員(事務員等)
5. 日本語ボランティア
6. 友人・知人(日本人)
7. 友人・知人(母国出身者)
8. 友人・知人(上記6. 7.以外)
9. 相談支援ダイヤルなど問い合わせ窓口
10. その他 ()
11. 相談できる人がいない

問24. あなたが日本で生活するにあたり、困っていることがあれば、教えてください。(自由記述)

<日本での生活で困っていること>

問25. あなたが日本で生活するにあたり、どのような支援があればよいと思いますか。(自由記述)

<日本で生活するにあたって、支援してほしいこと>

問26. あなたは、日本での生活をどのように感じていますか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 不満

<あなたご自身の情報について伺います>

問27. あなたの性別を教えてください。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 男
2. 女
3. その他

問28. あなたの年齢を教えてください。(最もあてはまるもの1つに○)

1. ~25歳以下
2. 26歳~30歳
3. 31歳~35歳
4. 36歳以上

問29. あなたは結婚していますか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 結婚していない
2. 結婚しており、相手は日本に住んでいる
3. 結婚しており、相手は日本以外(母国等)に住んでいる

問30. あなたの国籍を教えてください。(最もあてはまるもの1つに○)

1. ベトナム
2. 中国
3. ネパール
4. インドネシア
5. フィリピン
6. スリランカ
7. ミャンマー
8. インド
9. 韓国
10. モンゴル
11. カンボジア
12. 台湾
13. その他 ()

問31. あなたの母国での最終学歴、資格取得、就業経験について教えてください。(それぞれ最もあてはまるもの1つに○)

あなたの母国での最終学歴	1. 高等学校未満	2. 高等学校
母国での看護関連の資格・卒業資格の有無	3. 短期大学・専門学校	4. 大学・大学院
母国で看護関連の仕事をした経験	1. 持っている ⇒問31-1へ	2. 持っていない
母国で看護関連以外の仕事をした経験	1. ある	2. ない

【問31で看護関連の資格・卒業資格を「1.持っている」を選択した方】

問31-1. あなたが通っていた看護の学校(大学、専門学校、高等学校等)は、何年制でしたか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 1年制
2. 2年制
3. 3年制
4. 4年制
5. その他 ()

問32. あなたは、どのようなところに住んでいますか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. マンション・アパート等に1人で住んでいる
2. マンション・アパート等に複数人でルームシェアをしている
3. マンション・アパート等に家族と住んでいる
4. 寮に住んでいる
5. 親戚・知人宅等に居候している
6. その他 ()

問33. あなたは、在籍している介護福祉士養成校の授業料や日本での生活費をどのようにして支払っていますか。(あてはまるものいくつでも○)

1. 自分が奨学金を受けて支払っている ⇒問33-1、問33-2へ
2. 自分が借金をして支払っている ⇒問33-4~問33-6へ
3. 自分がアルバイト等の仕事をしながら支払っている
4. 自分が過去の貯蓄等を使って支払っている
5. 親等の家族が支払っている ⇒問34へ
6. その他 ()

【問33で1.を選択した方】

問33-1. あなたが受けている奨学金は、どこから受けた奨学金ですか。(あてはまるものいくつでも○)

1. 介護福祉士修学資金貸与制度の奨学金
2. 日本学生支援機構の奨学金
3. 都道府県・市町村からの奨学金
4. 介護施設・事業所からの奨学金
5. 現在通っている養成校からの奨学金
6. その他 ()
7. わからない

【問33で1.を選択した方】

問33-2. あなたが受けている奨学金は、今後返済する必要はありますか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. どのような場合においても返済する必要がない
 2. 一定の期間介護施設・事業所に就職して働けば、返済する必要がなくなる
 3. どのような場合においても返済する必要があり、現在返済中である
 4. どのような場合においても返済する必要があり、今後返済していく予定である
- ⇒ 問33-3へ

【問33-2で2.3.4.を選択した方】

問33-3. あなたが受けている奨学金の総額を把握していますか（どちらかに○）

1. 把握している ⇒ 日本円で総額（ ）円
2. 把握していない

【問33で2.を選択した方】

問33-4. あなたはどこで借金をしましたか。（あてはまるものいくつでも○）

1. 日本国内
2. 母国
3. その他（ ）

【問33で2.を選択した方】

問33-5. 現在、あなたは借金を返済中ですか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 返済中である
2. 現在は返済していないが、今後自身で返済する必要がある
3. 現在は返済しておらず、今後別の者（親族等）が返済する予定である

【問33で2.を選択した方】

問33-6. あなたが受けている借金の総額を把握していますか（どちらかに○）

1. 把握している ⇒ 日本円で総額（ ）円
2. 把握していない

問34. あなたは、どこでアルバイトをしていますか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 介護施設以外、介護施設の双方でアルバイトしている ⇒問34-1、問34-2へ
2. 介護施設以外でアルバイトをしており、介護施設ではしていない ⇒問34-1、問34-2へ
3. 介護施設のみでアルバイトをしている ⇒問34-2へ
4. アルバイトはしていない ⇒問35へ

【問34で1.2.を選択した方】

問34-1. あなたは、介護施設以外のアルバイトについて、どこでアルバイトを行っていますか。（あてはまるものいくつでも○）

1. 飲食の仕事（レストラン、ファーストフード、カフェ等）
2. オフィスワークに関わる仕事（コールセンター業務、パソコン業務等）
3. サービスに関わる仕事（ホテル・旅館、クリーニング等）
4. 販売に関わる仕事（コンビニ、スーパー等）
5. 語学に関わる仕事（教師、通訳等）
6. イベント・キャンペーンに関わる仕事（イベントスタッフ、ティッシュ配り等）
7. 現場作業等に関わる仕事（工場での製造や工事現場の作業等）
8. その他（ ）

【問34で1.2.3.を選択した方】

問34-2. あなたが現在行っているアルバイトについて、1週間のアルバイト時間と、時給（1時間あたりの単価）について教えてください。時給について、複数のアルバイトを行っている場合は、平均的な数字を選んでください。

	1週間のアルバイト時間	アルバイトの時給
介護施設でのアルバイト	以下①の選択肢を表示	以下②の選択肢を表示
介護施設以外のアルバイト	以下①の選択肢を表示	以下②の選択肢を表示

① 1週間のアルバイト時間の選択肢 ②アルバイトの時給

- | | | |
|----------------|------------------|------------------|
| 1. 5時間未満 | 1. 800円未満 | 7. 1800円～2000円未満 |
| 2. 5時間～10時間未満 | 2. 800円～1000円未満 | 8. 2000円以上 |
| 3. 10時間～15時間未満 | 3. 1000円～1200円未満 | |
| 4. 15時間～20時間未満 | 4. 1200円～1400円未満 | |
| 5. 20時間～25時間未満 | 5. 1400円～1600円未満 | |
| 6. 25時間～28時間未満 | 6. 1600円～1800円未満 | |

問35. あなたの、現在の1ヶ月のおおまかな収入、支出について教えてください。

【収入について】

※収入がない場合は「0」を表示してください

項目 (すべて1ヶ月あたりのおおまかな数字をご回答ください)	金額
奨学金からの収入	1ヶ月あたり 約 () 円
パート・アルバイト等での収入 (手取り額)	1ヶ月あたり 約 () 円
その他の収入 ()	1ヶ月あたり 約 () 円

【支出について】

※支出がない場合は「0」を表示してください

項目 (すべて1ヶ月あたりのおおまかな数字をご回答ください)	金額
住宅費 (家賃等)	1ヶ月あたり 約 () 円
食費	1ヶ月あたり 約 () 円
光熱費 (電気・ガス・水道等)	1ヶ月あたり 約 () 円
通信費 (ネット・携帯電話等)	1ヶ月あたり 約 () 円
(母国の家族等への) 仕送り費	1ヶ月あたり 約 () 円
健康保険 (国民健康保険等) 費	1ヶ月あたり 約 () 円
奨学金の返済	1ヶ月あたり 約 () 円
借入金の返済	1ヶ月あたり 約 () 円
その他の支出 ()	1ヶ月あたり 約 () 円
その他の支出 ()	1ヶ月あたり 約 () 円

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

iii. 都道府県における外国人介護人材の支援に関するアンケート調査

平成30年10月（都道府県票）

厚生労働省 社会・援護局 補助事業
「介護福祉士を目指す外国人留学生等に対する相談支援等の体制整備事業」

都道府県における 外国人介護人材の支援に関するアンケート調査

【本調査の目的】

平成28年11月に「出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律」が成立・公布され、新たに在留資格「介護」が創設されました（平成29年9月より施行）。これにより、介護福祉士の資格を取得し、日本国内で介護の業務に従事するため、介護福祉士養成施設への外国人留学生が増加していくことが予想されています。

本アンケート調査は、各都道府県における主に外国人介護人材にかかる人材受入れ状況の実態や、介護福祉士養成施設に所属する外国人留学生、および介護施設で働く外国人職員等に対する自治体の支援の実態を把握することで、全国的にどの程度の支援体制が構築されているかを把握するとともに、外国人留学生等の抱える課題に対する相談支援や日常生活面における支援を実施する体制を整備する際の参考データとし、外国人留学生が円滑に学習・就労等を行うことができるよう支援することを目的として実施するものです。

【本調査の対象】

都道府県

【ご回答にあたりまして】

ご記入にあたっては、介護福祉士養成施設等に所属する外国人留学生、施設に所属する外国人職員等の実態を把握している部署の方が記入してください。

【回答期限】

11月12日（月）までに 回答してください

【調査票の取扱いに関しまして】

ご回答いただきました内容につきましては、次のように取扱います。

- ・ 調査結果については取りまとめを行い、厚生労働省に提出させていただきます。
- ・ 調査への拒否や、一部の調査項目への回答拒否があっても、そのことで不利益が生じることは一切ございません。

■本調査に関する問合せ先

〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル5階
株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療政策支援部
担当：笠原、岡田、政岡、川村
TEL：(フリーダイヤル)0120-304-603(平日 10:00～17:00)FAX:03-3432-1837

■本事業の趣旨等に関する問合せ先

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-6-14 三久ビル7階
公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 事務局
担当：山田、石田
TEL:03-5512-4745(平日 10:00～17:00)FAX:03-5512-4746

<貴都道府県のすべての外国人介護人材の活用に対する考えについて伺います>

問1. 貴都道府県の、介護人材の過不足の状況についてどのように考えていますか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 現在も不足しており、将来も不足する
2. 現在は不足しているが、将来は充足する
3. 現在は充足しているが、将来は不足する
4. 現在も充足しており、将来も充足する
5. 分からない

問2. 外国人介護人材の活用に関して、第7期計画（第7期高齢者福祉計画等）へ明示を行っていますか。（どちらかに○）

1. 明示している
2. 明示していない

問3. 貴都道府県には、**庁内**に介護人材等に関する協議の場（検討会等）はありますか。（どちらかに○）

1. ある ⇒問3-1へ
2. ない ⇒問4へ

【問3で1.を選択した方】

問3-1. 庁内の介護人材等に関する協議の場（検討会等）において、外国人介護人材について検討を行っていますか。（どちらかに○）

1. 行っている ⇒問3-2、問3-3へ
2. 行っていない ⇒問4へ

【問3-1で1.を選択した方】

問3-2. 当該協議の場（検討会等）にはどのような人が参加していますか。（あてはまるものいくつでも○）

1. 高齢・介護分野の職員
2. 保健・医療・福祉分野（高齢・介護分野以外）の職員
3. 政策企画・財政部局の職員
4. 商工・労働関係部局の職員
5. 教育委員会の職員
6. その他（ ）
- 7.

【問3-1で1.を選択した方】

問3-3. 検討の内容を具体的に教えてください。（自由記述）

<検討内容>

問4. 貴都道府県には、**庁外**に介護人材等に関する協議の場（検討会等）はありますか。（どちらかに○）

1. ある ⇒問4-1へ
2. ない ⇒問5へ

【問4で1.を選択した方】

問4-1. 庁外の介護人材等に関する協議の場（検討会等）において、外国人介護人材について検討を行っていますか。（どちらかに○）

1. 行っている ⇒問4-2、問4-3へ
2. 行っていない ⇒問5へ

【問4-1で1.を選択した方】

問4-2. 当該協議の場（検討会等）にはどのような人が参加していますか。（あてはまるものいくつでも○）

1. 介護福祉士養成施設の教員・職員
2. 介護・医療・福祉分野の職能団体
3. 介護・医療・福祉分野の事業者団体
4. 福祉人材センター
5. ハローワーク
6. （都道府県あるいは市区町村）社会福祉協議会
7. 学校・教育機関あるいはその団体
8. 商工団体（商工会、商工会議所等）
9. 地方労働局
10. 他の市区町村関係者
11. その他（)

【問4-1で1.を選択した方】

問4-3. 検討の内容を具体的に教えてください。（自由記述）

<検討内容>

問5. 貴都道府県において、外国人介護人材に関してどのような支援を行っていますか。（あてはまるものいくつでも○）

1. 外国人留学生に関する介護福祉士養成施設の修学資金等の貸付・給付等の金銭的支援
2. 日本語学校の生徒等への介護の仕事の理解促進に関する支援
3. 日本語学習のための費用などの補助、支援
4. 職場見学、体験会等の開催に関する支援
5. 外国人求職者向けの資格取得に関する支援
6. 新任外国人介護職向けの合同研修に関する支援
7. 人事・採用担当者向けの合同研修に関する支援
8. 介護施設・事業所でのインターンシップ・職場体験の導入に関する支援
9. その他（)
10. 特に受けていない

<介護福祉士養成施設へ通う外国人留学生にかかる支援、および介護福祉士養成施設への支援について伺います>

問6. 貴都道府県にある介護福祉士養成施設の生徒数と外国人留学生の数を把握していますか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 各介護福祉士養成施設の生徒数、及び外国人留学生数のどちらも把握している
2. 各介護福祉士養成施設の生徒数のみ把握している
3. 各介護福祉士養成施設の外国人留学生数のみ把握している
4. 各介護福祉士養成施設の生徒数、及び外国人留学生数のどちらも把握していない

問7. 貴都道府県では、介護福祉士養成施設の外国人留学生に対してどのような支援を実施していますか。（それぞれの項目について最もあてはまるもの1つに○）

支援内容	実施している	今年度は実施していないが、今後実施する予定	今年度は実施しておらず、今後も実施する予定はない
1. 日本語学校の生徒や進路指導担当者等に対する介護の仕事の理解促進	1	2	3
2. 養成施設の説明会等について開催場所の提供	1	2	3
3. 修学資金等の貸付・給付等の金銭的支援	1	2	3
4. 生活支援相談等の窓口開設	1	2	3
5. 日本語に関する相談等の窓口開設	1	2	3
6. 介護施設・事業所でのインターンシップ・職場体験の導入支援	1	2	3
7. その他（)	1	2	3

問7-1へ

【問7で1. 2.を選択した方】

問7-1. 貴都道府県で、来年度以降、介護福祉士養成施設の外国人留学生に対し、特に注力して実施しようと考えている事業があれば、事業名とその概要を教えてください。（自由記述）

<事業名>	<事業の概要>
※ 問7の1.-7.の項目からあてはまるものを選択	

問8. 貴都道府県では、介護福祉士養成施設の日本人学生に対してどのような支援を実施していますか。（それぞれの項目について最もあてはまるもの1つに○）

支援内容	実施している	今年度は実施していないが、今後実施する予定	今年度は実施しておらず、今後も実施する予定はない
1. 進路指導担当者等に対する介護の仕事の理解促進	1	2	3
2. 養成施設の説明会等について開催場所の提供	1	2	3
3. 修学資金等の貸付・給付等の金銭的支援	1	2	3
4. 生活支援相談等の窓口開設	1	2	3
5. 介護施設・事業所でのインターンシップ・職場体験の導入支援	1	2	3
6. その他（ ）	1	2	3

問8-1へ

【問8で1. 2.を選択した方】

問8-1. 貴都道府県で、来年度以降、介護福祉士養成施設の日本人学生に対し、特に注力して実施しようと考えている事業があれば、事業名とその概要を教えてください。（自由記述）

<p><事業名></p> <p>※ 問8の1.-6.の項目からあてはまるものを選択</p>	<p><事業の概要></p>
---	----------------------

問9. 貴都道府県では、介護福祉士養成施設と連携していく上で、何か課題はありますか。（自由記述）

<p><連携していく上での課題></p>

<介護施設・事業所で働く在留外国人にかかる支援、および介護施設・事業所への支援について伺います>

問10. 貴都道府県が指定する介護職員初任者研修の実施機関のうち、外国人を対象とする実施機関を把握していますか（どちらかに○）。また、把握している場合、その実施機関数（平成30年9月末現在）を教えてください。

1. 把握している ⇒ 外国人を対象とする実施機関数（ 機関 / 分からない）
2. 把握していない

問11. 貴都道府県では、介護職員初任者研修実施機関に対して、外国人に関する何らかの事柄を、研修実施要件や留意事項として規定していますか。（どちらかに○）

1. 規定している入れている ⇒問11-1へ
2. 規定していない ⇒問12へ

【問11で1.を選択した方】

問11-1. 外国人に関するどのような事柄を、介護職員初任者研修実施機関の研修実施要件や留意事項として規定しているか、教えてください。（自由記述）

<p><外国人に関する事柄として規定していること></p>

問12. 貴都道府県では、外国人が就労する介護施設・事業所を把握していますか。（どちらかに○）

1. 把握している
2. 把握していない

問13. 貴都道府県では、介護施設・事業所の外国人介護人材の受入れ意向を把握していますか。（どちらかに○）

1. 把握している
2. 把握していない

問14. 貴都道府県では、外国人介護人材受入れに向け、介護施設・事業所に対してどのような事業を実施していますか。（それぞれの項目について最もあてはまるもの1つに○）

事業内容	実施している	今年度は実施していないが、今後実施する予定	今年度は実施しておらず、今後も実施する予定はない
1. 日本語学校の生徒等への介護の仕事の理解促進	1	2	3
2. 職場見学、体験会等の開催	1	2	3
3. 外国人求職者向けの資格取得支援	1	2	3
4. 新任外国人介護職向けの合同研修	1	2	3
5. 人事・採用担当者向けの合同研修	1	2	3
6. 介護施設・事業所でのインターンシップ・職場体験の導入支援	1	2	3
7. その他（ ）	1	2	3

問14-1へ

【問14で1. 2.を選択した方】

問14-1. 貴都道府県で、求年度以降、外国人介護人材受入れに向け、介護施設・事業所に対して特に注力して実施しようと考えている事業があれば、事業名とその概要を教えてください。（自由記述）

<p><事業名> ※ 問14の1.-7.の項目からあてはまるものを選択</p>	<p><事業の概要></p>
---	----------------------

問15. 貴都道府県では、外国人介護人材受入れのために介護施設・事業所と提携する上で、何か課題はありますか。（自由記述）

<p><提携していく上での課題>（例：外国人受入れ実績のある事業者が少なく、受入れノウハウ等がない等）</p>

問16. 貴都道府県では、外国人介護人材の受入れを進めるにあたり、何か課題はありますか。（自由記述）

<p><受入れを進める上での課題></p>

<貴都道府県の在留外国人全般にかかる支援について伺います>

問17. 貴都道府県では、在留外国人全般に対して、どのような支援を行っていますか。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 生活に関する相談窓口による相談支援
2. 就職に関する支援
3. 日本語に関わる相談窓口による相談支援
4. 日本語学習支援
5. 子育て支援
6. 防災関連の支援
7. （サロン等の開催による）地域住民との交流支援
8. その他（ ）
9. 特に行っていない

<貴都道府県の担当課の情報について伺います>

問18. 貴都道府県で、介護分野にかかる外国人留学生の支援を担当している担当部署（部課）名、担当者の連絡先等を教えてください。

<p><担当部署（部課）名></p>	<p><担当者氏名></p>
<p><連絡先電話番号></p>	<p><連絡先E-mail></p>

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

iv. 介護施設における外国人介護人材の採用・雇用に関するアンケート調査

平成 30 年 10 月（介護施設票）

厚生労働省 社会援護局 補助事業
「介護福祉士を目指す外国人留学生等に対する相談支援等の体制整備事業」

介護施設における 外国人介護人材の採用・雇用に関する アンケート調査（WEB）

【本調査の目的】

平成 28 年 11 月に「出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律」が成立・公布され、新たに在留資格「介護」が創設されました（平成 29 年 9 月より施行）。これにより、介護福祉士の資格を取得し、日本国内で介護の業務に従事するため、介護福祉士養成施設（以下、「介護福祉士養成校」といふ）への外国人留学生が増加していくことが予想されています。

本アンケート調査は、平成 30 年 3 月に介護福祉士養成校を卒業した外国人留学生を採用された介護施設における、採用・受入れ体制の実態、実際の就労の現場で生じる課題等を把握することとしています。これにより、介護福祉士を目指す外国人留学生等の円滑な受入れと介護福祉士を目指す外国人留学生が抱える課題に対する相談支援等を整備する際の参考データとし、外国人留学生が円滑に就労等を行うことができるよう支援することを目的として実施するものです。

【本調査の対象】

介護福祉士養成校を平成 30 年 3 月に卒業した外国人留学生を採用した介護施設

【ご回答にあたりまして】

ご記入にあたっては、介護人材の採用、困りごとの相談、業務の指導等に当たる部署の方が記入してください。

【回答期限】

11月16日（金）までに 回答してください

【調査票の取扱いに関しまして】

- ご回答いただきました内容につきましては、次のように取扱います。
 - 調査結果については取りまとめを行い、厚生労働省に提出させていただきます。
 - 調査への拒否や、一部の調査項目への回答拒否があっても、そのことで不利益が生じることは一切ございません。
 - 特に指定がない場合は、平成 30 年 10 月 1 日時点のことについてご回答ください。

■本調査に関する問合せ先

〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル5階
株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療政策支援部
担当：笠原、岡田、政岡、川村
TEL：(フリーダイヤル)0120-304-603（平日 10:00～17:00）FAX:03-3432-1837

■本事業の趣旨等に関する問合せ先

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-6-14 三久ビル7階
公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 事務局
担当：山田、石田
TEL:03-5512-4745（平日 10:00～17:00）FAX:03-5512-4746

<貴法人について伺います>

問 1. 貴法人が提供している介護サービスの全ての種類と、貴施設・貴事業所が提供しているサービスを教えてください。（いくつでも「√」チェック）

サービス提供種類	サービス内容	貴法人	貴施設		
介護サービス	在宅サービス	訪問介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		訪問入浴介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		訪問看護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		訪問リハビリテーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		通所介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		通所リハビリテーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		福祉用具貸与	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		特定福祉用具購入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		住宅改修	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		短期入所生活介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	短期入所療養介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	居宅療養管理指導	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	特定施設入居者生活介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	居宅介護支援サービス	居宅介護支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		施設サービス	介護老人福祉施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			介護老人保健施設	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	介護療養型医療施設		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
介護予防サービス	介護予防訪問介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	介護予防訪問入浴介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	介護予防訪問看護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	介護予防訪問リハビリテーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	介護予防通所介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	介護予防通所リハビリテーション	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	介護予防福祉用具貸与	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	介護予防特定福祉用具購入	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	介護予防住宅改修	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	介護予防短期入所生活介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	介護予防短期入所療養介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	介護予防居宅療養管理指導	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	介護予防特定施設入居者生活介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	指定介護予防支援	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
地域密着型サービス	夜間対応型訪問介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	認知症対応型通所介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	小規模多機能型居宅介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	認知症対応型共同生活介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	地域密着型特定施設入居者生活介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	看護小規模多機能型居宅介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	介護予防認知症対応型通所介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	介護予防小規模多機能型居宅介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
介護予防認知症対応型共同生活介護	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
その他（ ）		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		

問2. 貴法人の運営主体を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 民間企業
2. 社会福祉法人(社会福祉協議会を除く)
3. 医療法人
4. 社会福祉協議会
5. NPO(特定非営利活動法人)
6. 社団法人・財団法人
7. 地方自治体
8. その他()

問3. 貴法人全体の従業員数を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 5人未満
2. 5~20人未満
3. 20~50人未満
4. 50~100人未満
5. 100~300人未満
6. 300人以上
7. 分からない

問3-1. 貴施設・貴事業所全体の従業員数を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 5人未満
2. 5~20人未満
3. 20~50人未満
4. 50~100人未満
5. 100~300人未満
6. 300人以上
7. 分からない

＜貴施設・貴事業所における人材受入れの取組(日本人・外国人問わず)について伺います＞

問4. 貴施設・貴事業所では、介護人材の過不足の状況はどうか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 大いに不足
2. 不足
3. やや不足
4. 適当
5. 大いに充足

問5. 貴施設・貴事業所では、介護人材を受入れるためにどのような施策に取り組んでいますか。(あてはまるものいくつでも○)

1. 自法人(自施設)のホームページに掲載
2. 他社の求人専門Webサイトに掲載
3. 新聞広告などで求人募集
4. ハローワークで求人募集
5. SNSの活用
6. 会社説明会等の実施
7. 行政等が実施する合同就職面接会の利用
8. 大学、専門学校などへ求人票を送付
9. 大学、専門学校などの求人担当者へ依頼
10. 大学や専門学校の介護実習を積極的に受入れ
11. インターンシップ制度の実施
12. 人材紹介・派遣会社を利用
13. 職員や知人など関係者からの紹介
14. 他事業所や施設の職員などを勧誘
15. その他()
16. 特になし

問6. 貴施設・貴事業所の現在の介護人材の定着状況についてどのように考えていますか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 定着率は高い
2. 定着率はやや高い
3. どちらともいえない
4. 定着率はやや低い
5. 定着率は低い
6. 分からない

<貴施設・貴事業所における、外国人介護人材の採用について伺います。>

問7. 平成30年4月1日時点の貴施設・貴事業所の外国人介護人材※の人数を在留資格別に教えてください。正規・非正規等の雇用形態は問いません。(人数を記入。いない場合は「0」と記入) ※日本に帰化された方は含みません

1. 在留資格「介護」※平成29年9月以降	() 人
2. 上記のうち、平成30年3月に養成校を卒業した外国人留学生	上記のうち () 人
3. 日本人や永住者の配偶者	() 人
4. EPA介護福祉士候補者・EPA資格取得者	() 人
5. 技能実習生	() 人
6. 留学生・就学生	() 人
7. その他 ()	() 人

問8. 問7で回答された貴施設・貴事業所の外国人介護人材の国籍を教えてください。(あてはまるものいくつでも)

1. ベトナム	6. スリランカ	11. カンボジア
2. 中国	7. ミャンマー	12. 台湾
3. ネパール	8. インド	13. その他 ()
4. インドネシア	9. 韓国	14. 分からない・把握していない
5. フィリピン	10. モンゴル	

問9. 外国人介護人材の採用目的を教えてください。(あてはまるものいくつでも)

1. 国籍に関係なく、優秀な人材を受入れるため
2. 日本人介護職員の採用が困難なため
3. 日本人介護職員の定着率が低い
4. 異文化の価値観などを取り入れるため
5. 法人内の人材の多様化の一環として
6. 就労意欲が高い
7. 介護技術が高い
8. ホスピタリティが高い
9. 職場の雰囲気や他の職員への刺激など、職場活性化のため
10. 国際交流・国際貢献のため
11. その他 ()
12. 特になし

問10. 貴施設・貴事業所における介護人材の採用方針において、外国人介護人材はどのような位置付けか教えてください。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 日本人介護職員の採用が困難な場合に、外国人介護人材を採用している
2. 日本人介護職員も外国人介護人材も、同じように採用している
3. 日本人介護職員よりも、外国人介護人材を積極的に採用している
4. その他 ()
5. 分からない

問11. 貴施設・貴事業所では、平成30年3月以前に外国人介護人材を雇用したことがありますか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. ある ⇒問11-1～問11-5へ
2. ない
3. 分からない・不明 } ⇒問12へ

【問11で1.を選択した施設・事業所】

問11-1. 平成30年3月以前に雇用した外国人介護人材について教えてください。

①初めて外国人介護人材を採用・雇用した時期はいつ頃ですか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 平成29年度
2. 平成26年度～平成28年度
3. 平成20年度～平成25年度
4. 平成19年度以前
5. 分からない・把握していない

②平成30年3月以前に雇用したことのある外国人介護人材の在留資格を教えてください。(あてはまるものいくつでも○) ※日本に帰化された方は含みません

1. 日本人や永住者の配偶者
2. EPA介護福祉士候補者
3. 技能実習生
4. 在留資格「介護」※平成29年9月以降
5. 留学生・就学生
6. その他 ()

問11-2. 外国人介護人材の採用にあたって、貴施設・貴事業所で新たに準備したことや見直したことがあれば教えてください。(あてはまるものいくつでも○)

1. 生活に係る相談担当の設置
2. 職場・介護に係る相談・指導担当の設置
3. 宗教や文化の違いへの業務上の対応
4. 相談マニュアルの作成
5. 指導マニュアルの作成
6. 日本語学校との連携
7. 採用にあたっての利用者・家族への説明
8. 採用にあたっての職員への説明
9. 外国人介護人材を雇用している他の施設等へのヒアリング
10. 採用する外国人の母国についての文化・価値観などの職員の学習
11. その他 ()
12. 特別な対応はしていない

問11-3. 日本人介護職員と比較した場合、外国人介護人材の定着状況についてどのように考えていますか。外国人介護人材全般についてご回答ください。(あてはまるもの1つに○)

1. 外国人介護人材の方が定着率は低い
2. 日本人介護職員と定着率は変わらない
3. 外国人介護人材の方が定着率は高い
4. 分からない

問11-4. 外国人介護人材の定着に結びついた取組があれば、教えてください。外国人介護人材全般についてご回答ください。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 日本語学習の支援
2. メンター制度など、専任の相談・指導担当者の配置
3. 母国語による相談対応(外部連携含む)
4. 介護スキルアップの支援
5. 施設独自の奨学金制度(貸付、貸与型の返済免除、給付型など)
6. 寮や住宅手当、賃貸住宅の紹介などの住居支援
7. 子育てに関する支援
8. 帰省のための長期休暇をとりやすくするなど、労働条件の優遇
9. その他()
10. 特になし

※問8で1ヶ国だけ選択した施設・事業所は、問12へ

【問8で複数の国籍を選択し、問11で1. を選択した施設・事業所】

問11-5. 多様な国籍の外国人介護人材の採用や雇用にあたって苦労したことはありますか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. ある ⇒ (具体的に:)
2. ない
3. 分からない・把握していない

(すべての施設・事業所に伺います)

問12. 外国人介護人材の採用において、日本人介護職員と比べて難しい点がありますか。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 在留管理など、外国人雇い入れ特有のこと
2. 生活面等への支援業務の負担(職員体制)があること
3. 介護技術に関する指導業務の負担(職員体制)があること
4. 日本語でコミュニケーションをとること
5. 宗教・文化・生活習慣の違いがあること
6. 経済的な支援をすること
7. 日本人の採用よりも費用がかかること
8. 自施設の日本人職員の理解を得ること
9. 自施設(法人)の経営層の理解を得ること
10. 利用者や家族の理解を得ること
11. 地域の理解を得ること
12. その他()
13. 特になし

問13. 今後、外国人介護人材を採用したいですか。(あてはまるもの1つに○)

1. 採用したい
 2. どちらかといえば採用したい
 3. どちらともいえない
 4. どちらかというと採用したくない
 5. 採用したくない
 6. 分からない
- ⇒問13-1へ
⇒問14へ

【問13で1. 2. を選択した施設・事業所】

問13-1. どのような在留資格の外国人介護人材を採用・雇用したいとお考えですか。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 在留資格「介護」
2. 日本人や永住者の配偶者
3. EPA介護福祉士候補者・EPA資格取得者
4. 技能実習生
5. 留学生・就学
6. その他()

<貴施設・貴事業所で採用された、“平成30年3月に介護福祉士養成校を卒業した外国人留学生※”について伺います。>

※“平成30年3月に介護福祉士養成校を卒業し、在留資格が「留学」から「介護」に変更となった外国人の方”を指します。以下、“平成30年3月に養成校を卒業した**在留資格「介護」の方**”といいます

※平成29年9月に在留資格「介護」が創設され、介護福祉士養成校を卒業して介護福祉士資格を取得した外国人には新たな在留資格「介護」により日本に在留し、介護施設で就労することができるようになりました

問14. 貴施設・貴事業所で採用した、“平成30年3月に養成校を卒業した在留資格「介護」の方**”について、介護福祉士国家試験の受験・合格状況、国籍、現在の雇用状況を教えてください。（採用者ごとに、それぞれの項目について最もあてはまるもの1つに○）**

	i.介護福祉士国家試験の 受験・合格状況	ii.国籍	iii.現在の雇用状況
1人～ ●人目	1.受験し、合格している 2.受験し、不合格となった 3.受験していない 4.把握していない	1. ベトナム 2. 中国 3. ネパール 4. インドネシア 5. フィリピン 6. スリランカ 7. ミャンマー 8. インド 9. 韓国 10. モンゴル 11. カンボジア 12. 台湾 13. その他 ()	1. 働いている ⇒問15へ 2. 休職している 3. 退職した 4. その他 () ⇒問15へ

⇒問14-1へ

【問14iiiで2, 3. を選択した施設・事業所】

問14-1. 休職、退職した理由を教えてください。（あてはまるものいくつかでも○）

	理由
1人～ ●人目	1. 職場の人間関係がうまくいかなかった 2. 介護の仕事が合わなかった、能力が足りなかった 3. 日本の文化、食習慣、価値観、気候が合わなかった 4. 在留資格を取り消された 5. 個人的な事情（結婚・出産・妊娠・育児、病気など）があった 6. 家族の問題が起きた 7. その他 () 8. 分からない

問15. “平成30年3月に養成校を卒業した在留資格「介護」の方**”の募集先又は紹介元を教えてください。（あてはまるものいくつかでも○）**

1. 自グループ内の介護福祉士養成校からの紹介・連携
2. 自グループ以外の介護福祉士養成校からの紹介・連携
3. 国内の日本語学校と提携・連携
4. 現地（国外）の日本語学校と提携・連携
5. 国内外の外国人材の紹介・斡旋事業者との連携
6. 知人等からの紹介
7. 本人からの応募
8. その他 ()

問16. “平成30年3月に養成校を卒業した在留資格「介護」の方**”の採用において、重視したスキル等を教えてください。（それぞれの項目について最もあてはまるもの1つに○）**

身に付けてほしい能力	重視した				
	重視しなかった	あまり重視しなかった	どちらとも言えない	やや重視した	重視した
1. 介護業務に対応したコミュニケーションスキル（職員・利用者等との会話）	1	2	3	4	5
2. 介護記録等に係る日本語文章力（読み・書き）	1	2	3	4	5
3. 日本式接遇（利用者等に対する態度・言葉遣い等）の理解と実践	1	2	3	4	5
4. 日本の文化・習慣・生活への理解	1	2	3	4	5
5. 日本の介護事情・高齢者への理解	1	2	3	4	5

問17. “平成30年3月に養成校を卒業した在留資格「介護」の方**”の採用を決める上で、在留資格「介護」がプラスに働いたことがあれば教えてください。（あてはまるものいくつかでも○）**

1. 養成校を卒業している（介護福祉士の資格を保有している）こと
2. 在留の年数制限がないこと
3. 家族滞在が認められること
4. 国籍に制限がないこと
5. 日本の文化、習慣、生活への理解が既に十分できていること
6. その他 ()
7. 特になし

問18. “平成30年3月に養成校を卒業した在留資格「介護」の方”の採用にあたって、貴施設・貴事業所で新たに準備したことや見直したことがあれば教えてください。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 生活に係る相談担当の設置
2. 日本語学校との連携を含め、日本語教育の充実
3. 職場・介護に係る相談・指導担当の設置
4. 宗教や文化の違いへの業務上の対応
5. 相談マニュアルの作成
6. 指導マニュアルの作成
7. 採用にあたっての利用者・家族への説明
8. 採用に当たっての職員への説明
9. 外国人介護人材を雇用している他の施設等へのヒアリング
10. 修学資金制度の新設・見直し
11. 採用する外国人の母国についての文化・価値観などの職員の学習
12. その他（ ）
13. 特別な対応はしていない ⇒問19へ

⇒問18-1へ

【問18で13.以外を選択した施設・事業所】

問18-1. 新たに準備や見直したことについて、日本人介護職員を採用とした場合との違いがあれば、具体的に教えてください。（自由記述）

問19. “平成30年3月に養成校を卒業した在留資格「介護」の方”と日本人介護職員との間では、何らかの就業規則上の違いがありますか。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 日本人介護職員を優遇していることがある ⇒問19-1へ
2. “平成30年3月に養成校を卒業した在留資格「介護」の方”を優遇していることがある ⇒問19-1、問19-2へ
3. 特に違いはない ⇒問20へ
4. 分からない ⇒問20へ

【問19で1. 2.を選択した施設・事業所】

問19-1. 就業規則上の違いについて、具体的に教えてください。（自由記述）

【問19で2.を選択した施設・事業所】

問19-2. 就業規則上、“平成30年3月に養成校を卒業した在留資格「介護」の方”を優遇することについて、日本人介護職員の反応はいかがですか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 不満があった ⇒（具体的に： ）
2. 不満はなかった
3. わからない

※問11で2.または3.を選択した施設・事業所は、問22へ

【問11で1.を選択した施設・事業所】

問20. “平成30年3月に養成校を卒業した在留資格「介護」の方”の受入れにおいて、同程度の勤務経験年数の、EPA介護福祉士候補者等の他の在留資格の外国人介護人材の受入れと比べて、良かった点はありましたか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. あった ⇒（具体的に： ）
2. なかった
3. わからない

【問11で1.を選択した施設・事業所】

問21. “平成30年3月に養成校を卒業した在留資格「介護」の方”の受入れにおいて、同程度の勤務経験年数の、EPA介護福祉士候補者等の他の在留資格の外国人介護人材の受入れと比べて、難しい点はありましたか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. あった ⇒（具体的に： ）
2. なかった
3. わからない

<養成校を卒業した在留資格「介護」の方の雇用・就労状況について伺います>

問22. “平成30年3月に養成校を卒業した在留資格「介護」の方”から相談される内容を教えてください。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 介護知識・技能
2. 利用者や家族との関係、コミュニケーション
3. 職場の人間関係、コミュニケーション
4. 労働時間・休日等の労働条件
5. 勤務体制
6. 人事評価
7. 処遇・賃金
8. キャリアアップ、能力開発
9. 日本での生活
10. 経済的なこと
11. 在留資格のこと
12. 宗教、文化、生活習慣
13. 看護師資格の取得のこと
14. その他（ ）
15. 特になし

問23. “平成30年3月に養成校を卒業した在留資格「介護」の方”の就労にあたって、貴施設・貴事業所では、先進的に取り組んだ事業者や外部の専門家等に相談したことはありましたか。
(あてはまるものいくつかでも)

1. 募集・採用方法
2. 在留管理など、外国人雇い入れに関すること
3. 社会保険のこと
4. 生活面での配慮事項
5. 経済面での配慮事項
6. 就業規則上の配慮事項
7. 自施設の職員への周知方法
8. 利用者や家族への周知方法
9. 地域への周知方法や地域との関わり方
10. 日本語学習や日本語でのコミュニケーションの仕方
11. 母国語でのコミュニケーションの仕方
12. 介護等の指導方法
13. その他 (
14. 特になし ⇒問24へ

⇒問23-1へ

[問23で14.以外を選択した施設・事業所]

問23-1. 相談した相手を教えてください。(あてはまるものいくつかでも)

1. 入国管理局
2. 人材派遣会社
3. 全国老人保健施設協会や全国老人福祉施設協議会などの業界団体
4. 社会保険労務士
5. 地方公共団体(市区町村、都道府県)
6. 地元警察
7. 自治会等の周辺住民
8. 外国人を支援するNPO団体
9. 日本語学校、日本語の専門家
10. 外国語の専門家
11. 介護福祉士養成校、介護の専門家
12. 他の介護施設・介護事業所
13. 大学など、地域にある教育機関
14. その他 (

13

問24. “平成30年3月に養成校を卒業した在留資格「介護」の方”の仕事内容等で、同程度の資格・勤務経験年数の日本人介護職員と比べてときに、制限・免除していることはありますか。介護職員が行える範囲の行為について、ご回答ください。(あてはまるものいくつかでも)

1. 話し相手、レクリエーションなど、利用者のメンタルケア
2. 利用者からの介護に関する相談、指導、助言
3. 地域や他の機関との交流
4. 緊急時や事故時の対応
5. 電話応対
6. 入浴介助
7. 食事介助
8. 排泄介助
9. 移乗・移動・体位変換
10. 掃除、洗濯、調理等の生活支援
11. 記録、申し送り等
12. 夜勤など、勤務時間帯
13. 認知症や重度者など、利用者の範囲
14. 内服介助
15. その他 (
16. 特になし ⇒問25へ

⇒問24-1へ

[問24で16.以外を選択した施設・事業所]

問24-1. 同程度の資格・勤務経験年数の日本人介護職員と比べて、仕事内容等を制限・免除している理由を教えてください。(あてはまるものいくつかでも)

1. 宗教・文化の違いによる不安があるから
2. 日本人の介護職員からの要望があるから
3. 利用者や家族からの要望があるから
4. 緊急時・事故発生時の対応に不安があるから
5. 勤務態度に不安があるから
6. 本人からの要望があるから
7. 日本語でのコミュニケーションに不安があるから
8. 介護技術に不安があるから
9. その他 (
10. 特になし

問25. “平成30年3月に養成校を卒業した在留資格「介護」の方”と、同程度の資格・勤務経験年数の日本人介護職員とを比べてときに、何らか処遇の違いはありますか。(最もあてはまるもの1つに〇)

1. ある ⇒(具体的に:)
2. ない
3. 分からない

14

v. 介護施設等で働く外国人介護職員に対するアンケート調査

平成30年10月（卒業生票）

厚生労働省 社会援護局 補助事業
「介護福祉士を目指す外国人留学生等に対する相談支援等の体制整備事業」

介護施設等で働く

外国人介護職員に対するアンケート調査

【本調査の目的】

平成28年11月に「出入国管理及び難民認定法の一部を改正する法律」が成立・公布され、新たに在留資格「介護」が創設されました(平成29年9月より施行)。これにより、介護福祉士の資格を取得し、日本国内で介護の業務に従事するため、介護福祉士養成校への外国人留学生が増加していくことが予想されています。

本アンケート調査は、介護福祉士養成校を卒業後、介護施設・事業所等で働いている外国人介護職員に対して、日本で介護職として働くにあたってどのような困難があるか、また職場に望むことはあるか、就職した際にあたって困難等について調査を行うことで、外国人留学生、外国人介護福祉士養成校卒業生等の抱える課題に対する相談支援や日常生活面における支援を実施する体制を整備し、外国人留学生・外国人介護福祉士養成校卒業生等が円滑に学習・就労等を行うことができるよう支援することを目的として実施するものです。

【本調査の対象】

介護福祉士養成校を平成30年3月に卒業し、現在介護施設・事業所等で働いている外国人介護職員

【回答期限】

11月16日(金)までに WEBにて回答してください

【調査票の取扱いに關しまして】

ご回答いただきました内容につきましては、次のように取扱います。

- ・ 調査結果については取りまとめを行い、厚生労働省に提出させていただきます。
- ・ 調査への拒否や、一部の調査項目への回答拒否があっても、そのことで不利益が生じることは一切ございません。

■本調査に関する問合せ先

〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-22 日本能率協会ビル5階

株式会社日本能率協会総合研究所 福祉・医療政策支援部
担当：笠原、岡田、政岡、川村

TEL：(フリーダイヤル)0120-304-603(平日 10:00～17:00)FAX:03-3432-1837

■本事業の趣旨等に関する問合せ先

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-6-14 三久ビル7階

公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 事務局
担当：山田、石田

TEL:03-5512-4745(平日 10:00～17:00)FAX:03-5512-4746

＜あなたの経歴等について 伺います＞

問1. あなたは、介護福祉士養成校に入学する直前、どこにいましたか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 日本にいた ⇒問1-1、問1-2へ
2. 母国にいた ⇒問1-2へ
3. 日本、母国以外の別の国にいた ⇒問1-3へ

【問1で1.を選択した方】

問1-1. あなたは、介護福祉士養成校に入学する直前、なにをしていましたか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 日本語学校に通っていた
2. 現在とは別の介護福祉士養成校に通っていた
3. 働いていた(看護師として)
4. 働いていた(介護に関連した仕事)
5. 働いていた(上記3.4.以外の仕事)
6. その他()

【問1で1.2.を選択した方】

問1-2. あなたは、母国で、なにをしていましたか。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 日本語学校に通っていた
2. 看護の学校(大学、専門学校、高等学校等)に通っていた
3. 看護以外の学校(大学、専門学校、高等学校)に通っていた
4. 働いていた(看護師として)
5. 働いていた(介護に関連した仕事)
6. 働いていた(上記3.4.以外の仕事)
7. その他()

【問1で3.を選択した方】

問1-3. あなたは、日本、母国以外の別の国で、なにをしていましたか。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 日本語学校に通っていた
2. 看護の学校(大学、専門学校、高等学校等)に通っていた
3. 看護以外の学校(大学、専門学校、高等学校)に通っていた
4. 働いていた(看護師として)
5. 働いていた(介護に関連した仕事)
6. 働いていた(上記3.4.以外の仕事)
7. その他()

問2. あなたが、日本の介護福祉士養成校に入学しようと考えた時期はいつですか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 母国において、日本語学校に通っていたとき
2. 母国において、看護の学校(大学、専門学校、高等学校等)に通っていたとき
3. 母国において、看護以外の学校(大学、専門学校、高等学校等)に通っていたとき
4. 母国において、看護師として働いていたとき
5. 母国において、介護に関連した職場で働いていたとき
6. 母国において、上記4.5.(看護師や介護に関連した職場)以外の職場で働いていたとき
7. 日本において、日本語学校に通っていたとき
8. 日本において、看護師として働いていたとき
9. 日本において、介護に関連した職場で働いていたとき
10. 日本において、上記8.9.(看護師や介護に関連した職場)以外の職場で働いていたとき
11. その他()

問3. あなたが、日本の介護福祉士養成校に入学しようと思ったのはなぜですか。(あてはまるものいくつかでも○)

1. 日本の介護技術を学びたかったから
2. 将来、日本の介護福祉士の専門知識・技術、そして経験を生かして母国で仕事がしたいから
3. 母国で取得した自分の資格やキャリアが日本での介護業務に生かせると思ったから
4. 平成33年度末までに養成校を卒業して介護施設・事業所に5年勤め続ければ、介護福祉士の試験の可否にかかわらず、日本に在留し続けることができるから
5. 日本で働きたかったから ⇒問3-1へ
6. その他()

【問3で5.を選択した方】

問3-1. あなたが、日本で働きたいと思ったのはなぜですか。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 日本に住んでみたかったから ⇒問3-2へ
2. 家族・親戚・友人が日本に住んでいるから
3. 家族・友人・知人等に勧められたから
4. 母国から日本が近いから
5. 日本に留学していたことがあるから
6. その他（ ）

【問3-1で1.を選択した方】

問3-2. あなたが日本に住んでみたかったと思ったのはなぜですか。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 日本人の気質が好きだから
2. 日本が住みやすいから
3. 日本は雇用が安定しているから
4. 日本は給与水準が高いから
5. 日本の文化・芸術に興味があるから
6. 日本は教育環境が充実しているから
7. その他（ ）

＜現在の職場に就職する際に行った就職活動について伺います＞

問4. あなたが、就職に向けた情報収集・相談等を行う際に、これまで利用したものはありますか。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 介護福祉士養成校の就職支援部署からの紹介・推薦
2. 介護福祉士養成校の先生からの情報・紹介
3. 介護福祉士養成校のクラスメイトからの情報・口コミ
4. 介護業界で働く先輩や知人からの情報・紹介
5. 家族・友人・知人からの紹介
6. SNSやブログ、口コミサイトの情報
7. 人材紹介会社の紹介
8. ハローワーク
9. 福祉人材センター
10. 求人情報誌や新聞、雑誌等の求人情報
11. 新聞、雑誌等の業界に関する記事・ニュース
12. インターネットの就職サイト
13. 企業、介護施設・事業所等の個別説明会
14. 企業、介護施設・事業所等のホームページ
15. 就職フェアや合同説明会等の就職イベント
16. 自主的な職場体験・実習・インターンシップやボランティア
17. 学校のカリキュラムの一環として職場体験・実習・インターンシップやボランティア
18. その他（ ）
19. 特に利用したものはない ⇒問6へ

⇒問5へ

問5. 上記のうち、実際に役立った、有効だったと感じるものはありますか。（あてはまるものいくつかでも○）

※上記の選択肢で○がついたものを表示させ、チェックしていただく（WEB上で対応）

問6. あなたは、就職活動・および就職するうえで困ったことはありませんか。(あてはまるものいくつかでも)

1. 日本語能力の面で面接官等と意思疎通が困難なことがあった
2. 就職に関する情報が入手しづらかった
3. なかなか採用されなかった
4. 介護福祉士国家試験の勉強との両立
5. アルバイトとの両立
6. 介護施設・事業所からの奨学金を受けていたので、就職先の選択肢がなかった
7. 身元保証人がなかなか見つからなかった
就職にあたって転居をしなければならなかった
8. その他()
9. 特に困ったことはなかった

問7. あなたが、就職活動をした際、介護福祉士養成校のサポートをどのように感じましたか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 不満

問8. あなたが、就職活動をした際、介護福祉士養成校のサポートについて、満足した点、不満だった点があれば具体的に教えてください。(自由記述)

<満足した点>

<不満だった点>

＜現在の仕事の状況や、今後の展望について伺います＞

問9. あなたは、現在、どのような雇用・勤務形態ですか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 正規職員・常勤
2. 正規職員・非常勤
3. 非正規職員・常勤
4. 非正規職員・非常勤

正規：期間を定めない雇用契約を締結している職員

非正規：期限を定めた雇用契約を締結している職員

常勤：当該事業所における勤務時間が当該事業所において定められている常勤の従業者が勤務すべき時間数

(週32時間を下回る場合は週32時間を基本とする。)に達している職員

非常勤：上記の「常勤」以外の職員

問10. あなたが介護福祉士養成校で学習したことは、現在の職場でどの程度役に立っていますか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. とても役に立っている
2. 役に立っている
3. どちらともいえない
4. あまり役に立っていない
5. まったく役に立っていない

問11. あなたは、仕事をしていく中で、以下の項目についてどの程度重視しますか。（それぞれ最もあてはまるもの1つに○）

区分	重要ではない	あまり重要ではない	どちらともいえない	やや重要	重要
1. 仕事の内容	1	2	3	4	5
2. 仕事のやりがい	1	2	3	4	5
3. キャリアパス（※）の制度が整っているか	1	2	3	4	5
4. 給料	1	2	3	4	5
5. 労働時間・休日等の働き方	1	2	3	4	5
6. 立地条件（家から通えるか等）	1	2	3	4	5
7. 職場の人間関係が良好か	1	2	3	4	5
8. 職場に知り合いの日本人が働いている	1	2	3	4	5
9. 職場に同じ国の外国人が働いている	1	2	3	4	5
10. 安定的に長期間働くことができるか	1	2	3	4	5
11. 福利厚生	1	2	3	4	5

※ キャリアパスとは、目標とするポジションやキャリアに向かって、必要なステップを踏んでいくための順序や道筋のことをいいます

問12. あなたは現在の職場の、直近1ヶ月（2018年9月）の勤務状況を教えてください。

※それぞれについて勤務実態がない場合は「0」を入力してください

出勤（ ）日、夜勤回数（ ）回、休日（ ）日

問13. あなたは、母国の家族等に仕送りをしていますか。（どちらかに○）

1. している
2. していない

問14. あなたは、現在の仕事以外に、他に仕事（パート・アルバイト等）をしていますか。

（どちらかに○）

1. している
2. していない

問15. あなたは、仕事の内容についてどのように感じていますか。（それぞれ最もあてはまるもの1つに○）

項目	全く違う	やや違う	どちらでもない	その通り	全くその通り
1. 同じ介護施設・事業所の日本人の同期や同僚と比べ、仕事内容が制限されている	1	2	3	4	5
2. 母国での学歴からみると、現在の仕事内容に納得がいけない	1	2	3	4	5
3. 母国で取得した資格（看護や介護等）からみると、現在の仕事内容に納得がいけない	1	2	3	4	5

問16. あなたは、現在の職場を他の人に薦めたいですか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 薦めたい
2. どちらともいえない
3. 薦めたくない

問17. 問16で選んだ回答の理由を教えてください。（自由記述）

<理由>

問18. あなたは、現在の職場で困っていることはありますか。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 自身の介護技術
2. 自身の日本語能力
3. 職場における宗教への理解
4. 出身国と日本との生活習慣の違い
5. 職場の職員同士の人間関係
6. 職場の利用者との人間関係
7. 地域住民との人間関係
8. 長期の休暇がとりづらく、思うように母国に帰ることができない
9. その他（ ）
10. 特に困っていることはない

問19. あなたは、現在の職場で困ったとき、誰に相談をしていますか。(あてはまるものいくつでも○)

1. 職場の同僚
2. 職場の直属の上司
3. 職場の直属でない上司
4. 日本語ボランティア
5. 友人・知人(日本人)
6. 友人・知人(母国出身者)
7. 友人・知人(上記5. 6. 以外)
8. 卒業した日本語学校の教員等
9. 相談支援ダイヤルなど問い合わせ窓口
10. その他()
11. 相談できる人がいない

問20. あなたは、今までに現在の職場を辞めたいと思ったことはありますか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. よく思う
 2. 時々思う
 3. たまに思う
 4. あまり思ったことはない
 5. 1度も辞めたいと思ったことはない ⇒問21へ
- } ⇒問20-1へ

【問20で5.以外を選択した方】

問20-1. あなたが、現在の職場を辞めたいと思ったのはなぜですか。(あてはまるものいくつでも○)

1. 仕事についていけないから
2. 介護職は続けたいが現在の職場から離れたいから ⇒問20Aへ
3. 介護職以外の仕事をしたがいから ⇒問20Bへ
4. 進学したいから ⇒問20Cへ
5. プライベートな理由(家族、趣向等に関わる理由等)から ⇒問20Dへ
6. 日本で暮らしていくのが大変だから ⇒問20Eへ
7. その他()

【問20-1で2.を選択した方】

問20A. あなたが、介護職は続けたいが現在の職場から離れたと思ったのはなぜですか。(あてはまるものいくつでも○)

1. 職場での上司・同僚との人間関係がうまくいかないから
2. 職場での利用者との人間関係がうまくいかないから
3. 現在の給与に満足できないから
4. 勤務時間や勤務体系に満足できないから
5. 福利厚生に満足できないから
6. 家から職場が遠く、通うのが大変だから
7. 経営方針あるいは運営のあり方に満足できないから
8. その他()

【問20-1で3.を選択した方】

問20B. あなたが、介護職以外の仕事をしたと思ったのはなぜですか。(あてはまるものいくつでも○)

1. 介護について理解できないから
2. 利用者とのコミュニケーションが難しいから
3. 介護で使用する日本語が難しいから
4. 介護職としての給与に納得がいかないから
5. 介護の仕事が体力的に大変だから
6. 介護の仕事が精神的に大変だから
7. 看護師として仕事をしたがいから
8. 介護の仕事イメージがあまり良くないから
9. その他()

【問20-1で4.を選択した方】

問20C. あなたが、進学したいのはどこですか。(あてはまるものいくつでも○)

1. 日本の看護の学校(大学・専門学校等)
2. 日本の医療や介護に関係のない学校(大学・専門学校等)
3. 母国の看護の学校(大学・専門学校等)
4. 母国の医療や介護に関係のない学校(大学・専門学校等)
5. 日本や母国以外の別の国の看護の学校(大学・専門学校等)
6. 日本や母国以外の別の国の医療や介護に関係のない学校(大学・専門学校等)
7. その他()

【問20-1で5.を選択した方】

問20D. あなたが、現在の職場を辞めたいと思った、プライベートな理由を教えてください。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 結婚（妊娠）する（した）から
2. 母国の家族が心配するから
3. 日本以外のほかの国に行きたいから
4. その他（)

【問20-1で6.を選択した方】

問20E. あなたが、日本で暮らしていくのが大変だと思ったのはなぜですか。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 日本の慣習に慣れるのが大変だから
2. 日本語が難しいから
3. 外国人だからという理由で差別を受けるから
4. 自分の母国の文化・宗教等について周りの理解がないから
5. 日本は物価が高く、生活費を工面するのが大変だから
6. 日本に知り合いがありません、孤独だから
7. ホームシックになったから
8. その他（)

問21. あなたは、現在の仕事をどのように感じていますか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 不満

問22. あなたは、在留意向を教えてください。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 日本に永住したい
2. 今後、10年程度は日本で仕事するつもりである
3. 今後、5年程度は日本で仕事をするつもりである
4. 今後、1～2年程度は日本で仕事をするつもりである
5. すぐにでも帰国したい・日本を離れたい
6. その他（)

＜あなたの日本での生活全般について伺います＞

問23. あなたは、以下の場面で使う日本語について、どの程度分かりますか。（それぞれ最もあてはまるもの1つに○）

区分	まったく わからない	わからない	どちらとも えない	だいたい わかる	よくわかる
日常生活	1	2	3	3	5
職場での上司・同僚との会話	1	2	3	3	5
職場での利用者・利用者家族との会話	1	2	3	3	5

問24. あなたは、日本語の会話で困ったとき、誰に相談していますか。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 職場の直属の上司
2. 職場の直属でない上司
3. 職場の同僚
4. 日本語ボランティア
5. 友人・知人（日本人）
6. 友人・知人（母国出身者）
7. 友人・知人（上記5. 6. 以外）
8. 卒業した日本語学校の教員等
9. 相談支援ダイヤルなど問い合わせ窓口
10. その他（)
11. 相談できる人がいない

問25. あなたは、日本での生活で困ったとき、誰に相談していますか。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 職場の直属の上司
2. 職場の直属でない上司
3. 職場の同僚
4. 日本語ボランティア
5. 友人・知人（日本人）
6. 友人・知人（母国出身者）
7. 友人・知人（上記5. 6. 以外）
8. 卒業した日本語学校の教員等
9. 相談支援ダイヤルなど問い合わせ窓口

- 10. その他 ()
- 11. 相談できる人がいない

問26. あなたが日本で生活するにあたり、困っていることがあれば、教えてください。(自由記述)

<日本での生活で困っていること>

問27. あなたが日本で生活するにあたり、どのような支援があればよいと思いますか。(自由記述)

<日本での生活で、支援してほしいこと>

問28. あなたは、日本での生活をどのように感じていますか。(最もあてはまるもの1つに○)

1. 満足
2. やや満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 不満

＜あなたご自身の情報について伺います＞

問29. あなたの性別を教えてください。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 男
2. 女
3. その他

問30. あなたの年齢を教えてください。（最もあてはまるもの1つに○）

1. ～25歳以下
2. 26歳～30歳
3. 31歳～35歳
4. 36歳以上

問31. あなたは結婚していますか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 結婚していない
2. 結婚しており、相手は日本に住んでいる
3. 結婚しており、相手は日本以外（母国等）に住んでいる

問32. あなたの国籍を教えてください。（最もあてはまるもの1つに○）

1. ベトナム
2. 中国
3. ネパール
4. インドネシア
5. フィリピン
6. スリランカ
7. ミャンマー
8. インド
9. 韓国
10. モンゴル
11. カンボジア
12. 台湾
13. その他（ ）

問33. あなたの母国での最終学歴、資格取得、職務経験について教えてください。（それぞれ最もあてはまるもの1つに○）

あなたの母国での最終学歴	1. 高等学校未満	2. 高等学校
	3. 短期大学・専門学校	4. 大学・大学院
母国での看護関連の資格・卒業資格の有無	1. 持っている ⇒問33-1へ 2. 持っていない	
母国で看護関連の仕事をした経験	1. ある	2. ない
母国で看護関連以外の仕事をした経験	1. ある	2. ない

【問33で看護関連の資格・卒業資格を「1.持っている」を選択した方】

問33-1. あなたが通っていた看護の学校（大学、専門学校、高等学校等）は、何年制でしたか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 1年制
2. 2年制
3. 3年制
4. 4年制
5. その他（ ）

問34. あなたは、介護福祉士国家試験を受験したことはありますか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 受験したことがある ⇒問34-1へ
2. 受験したことはないが、今後受験予定である ⇒問35へ
3. 受験したことはなく、今後も受験する予定はない ⇒問35へ

【問34で1.を選択した方】

問34-1. 介護福祉士の資格は持っていますか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 持っている
2. 持っていないが、今後受験予定
3. 持っておらず、今後受験する予定はない

問35. あなたが働いている介護施設・事業所の区分は、どれにあてはまりますか。（あてはまるものいくつかでもチェック）

サービス提供種類	サービス内容	チェック	
介護サービス	在宅サービス	訪問介護	<input type="checkbox"/>
		訪問入浴介護	<input type="checkbox"/>
		訪問リハビリテーション	<input type="checkbox"/>
		所介護通	<input type="checkbox"/>
		通所リハビリテーション	<input type="checkbox"/>
		福祉用具貸与	<input type="checkbox"/>
		短期入所生活介護	<input type="checkbox"/>
		短期入所療養介護	<input type="checkbox"/>
		居宅療養管理指導	<input type="checkbox"/>
		特定施設入居者生活介護	<input type="checkbox"/>
	居宅介護支援サービス	居宅介護支援	<input type="checkbox"/>
		施設サービス	介護老人福祉施設
	介護老人保健施設		<input type="checkbox"/>
	介護予防サービス		介護予防訪問介護
介護予防訪問入浴介護			<input type="checkbox"/>
介護予防訪問リハビリテーション			<input type="checkbox"/>
介護予防居宅療養管理指導			<input type="checkbox"/>
介護予防通所介護			<input type="checkbox"/>
介護予防通所リハビリテーション			<input type="checkbox"/>
介護予防短期入所生活介護			<input type="checkbox"/>
介護予防短期入所療養介護			<input type="checkbox"/>
短期入所療養介護			<input type="checkbox"/>

地域密着型サービス	介護予防特定施設入居者生活介護	<input type="checkbox"/>
	介護予防福祉用具貸与	<input type="checkbox"/>
	指定介護予防支援	<input type="checkbox"/>
	夜間対応型訪問介護	<input type="checkbox"/>
	認知症対応型通所介護	<input type="checkbox"/>
	小規模多機能型居宅介護	<input type="checkbox"/>
	認知症対応型共同生活介護	<input type="checkbox"/>
	認知症対応型共同生活介護（短期利用型）	<input type="checkbox"/>
	地域密着型特定施設入居者生活介護	<input type="checkbox"/>
	地域密着型介護老人福祉施設	<input type="checkbox"/>
	介護予防認知症対応型通所介護	<input type="checkbox"/>
	介護予防小規模多機能型居宅介護	<input type="checkbox"/>
介護予防認知症対応型共同生活介護	<input type="checkbox"/>	
その他（ ）	<input type="checkbox"/>	

問36. あなたは、どのようなところに住んでいますか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. マンション・アパート等に1人で住んでいる
2. マンション・アパート等に複数人でルームシェアをしている
3. マンション・アパート等に家族と住んでいる
4. 寮に住んでいる
5. 親戚・知人宅等に居候している
6. その他（ ）

問37. あなたが、介護福祉士養成校や日本語学校等に通っていたとき、奨学金を受けていたり、何らかの借金をしていたりしましたか（あてはまるものいくつかでも○）

1. 奨学金を受けていた ⇒問37-1、問37-2へ
2. 借金をしていた ⇒問37-4～問37-6へ
3. 奨学金は受けておらず、借金をしていなかった ⇒問38へ

【問37で1.を選択した方】

問37-1. あなたが受けていた奨学金は、どこから受けた奨学金ですか。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 介護福祉士修学資金貸与制度の奨学金
2. 日本学生支援機構の奨学金
3. 都道府県・市町村からの奨学金
4. 介護施設・事業所からの奨学金
5. 通っていた養成校からの奨学金
6. その他（ ）
7. わからない

【問37で1.を選択した方】

問37-2. あなたが受けていた奨学金は、今後返済する必要があるですか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. どのような場合においても返済する必要がない
2. 一定の期間介護施設・事業所に就職して働けば、返済する必要がなくなる
3. どのような場合においても返済する必要があり、現在返済中である
4. どのような場合においても返済する必要があり、今後返済していく予定である

} ⇒ 問37-3へ

【問37-2で2.3.4.を選択した方】

問37-3. あなたが受けている奨学金の総額を把握していますか（どちらかに○）

1. 把握している ⇒ 日本円で総額（ ）円
2. 把握していない

【問37で2.を選択した方】

問37-4. あなたはどこで借金をしましたか。（あてはまるものいくつかでも○）

1. 日本国内
2. 母国
3. その他（ ）

【問37で2.を選択した方】

問37-5. 現在、あなたは借金を返済中ですか。（最もあてはまるもの1つに○）

1. 返済中である
2. 現在は返済していないが、今後自身で返済する必要がある
3. 現在は返済しておらず、今後別の者（親族等）が返済する予定である

【問37で2.を選択した方】

問37-6. あなたが受けている借金の総額を把握していますか（どちらかに○）

1. 把握している ⇒ 日本円で総額（ ）円
2. 把握していない

問38. あなたの、現在の1ヶ月のおおまかな収入、支出について教えてください。

【収入について】

※収入がない場合は「0」を表示してください

項目（すべて1ヶ月あたりのおおまかな数字をご回答ください）	金額
現在の職場（介護施設・事業所）での収入（手取り額）	1ヶ月あたり約（ ）円
パート・アルバイト等での収入（手取り額）	1ヶ月あたり約（ ）円
その他の収入（ ）	1ヶ月あたり約（ ）円

【支出について】

※支出がない場合は「0」を表示してください

項目（すべて1ヶ月あたりのおおまかな数字をご回答ください）	金額
住宅費（家賃等）	1ヶ月あたり約（ ）円
食費	1ヶ月あたり約（ ）円
光熱費（電気・ガス・水道等）	1ヶ月あたり約（ ）円
通信費（ネット・携帯電話等）	1ヶ月あたり約（ ）円
（母国の家族等への）仕送り費	1ヶ月あたり約（ ）円
奨学金の返済	1ヶ月あたり約（ ）円
借入金の返済	1ヶ月あたり約（ ）円
その他の支出（ ）	1ヶ月あたり約（ ）円
その他の支出（ ）	1ヶ月あたり約（ ）円

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

厚生労働省 補助事業
介護福祉士を目指す外国人留学生等に対する相談支援等の体制整備事業
アンケート調査 報告書

平成 31 年 3 月発行

公益社団法人 日本介護福祉士養成施設協会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-6-14 三久ビル 7 階 TEL:03(5512)4745 FAX:03(5512)4746
